



国民春闘共闘

2023年度 第30号
2023年8月15日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

夏季一時金 第4回（最終）集計

単純平均 1.89 ヲ月、575,182 円

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は8月4日、2023年最終となる第4回目の夏季一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2023年	2022年同期
回答引き出し組合	1265	1293
うち 妥結組合	786(62.1%)	693(53.6%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象		2023年回答	2022年同期	同期比
単純平均	月数	1.89	1.83	0.06
	額(円)	575,182	566,386	8,796
加重平均	額(円)	592,154	627,965	-35,811
	組合員数	183,718	233,671	

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

		組合数	前年実績以上	前年実績超	23年回答	22年実績	実績比
単純平均	月数	1016	837(82.4%)	315(31.0%)	1.89	1.88	0.01
	金額	480	330(68.8%)	301(62.7%)	597,613	584,337	13,276

<非正規の仲間の回答状況>

		時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数	0.738	1.287	0.472	1.076
	前年実績	0.756	1.130	0.521	1.114
	額(円)	39,632	188,978	62,927	116,458
	前年実績	42,860	205,509	57,873	131,426

※額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

※言葉による回答は平均などの計算から除いています。

<集計結果の概要>

回答引き出し・妥結状況

8月4日に実施した2023年夏季一時金第4回集計には、別表の31単産・部会から報告が寄せられました。回答引き出し組合は、2187組合のうち1265組合(57.8%)で、前年最終集計(2022年8月4日：1293組合・58.5%)とほぼ同水準となっています。

回答引き出し組合のうち190組合が数次にわたる上積み回答を引き出しています。日本医労連の組合が6次回答を引き出したのをはじめ、5次回答4組合(JMITU：2、全倉運、出版労連：各1)、4次回答7組合(JMITU：2、全倉運、全印総連、出版労連、日本医労連、全労連・全国一般：各1)、3次回答38組合、2次回答141組合となっています。

回答引き出し組合のうち786組合が妥結しており、妥結率は62.1%となりました。

回答内容

回答月数が判明している1136組合での単純平均(一組合あたりの平均)は1.89ヵ月で、前年実績の1.83ヵ月を0.06ヵ月上回りました。

このうち6ヵ月以上の回答を引き出したのが2組合、5ヵ月以上6ヵ月未満3組合、4ヵ月以上5ヵ月未満10組合、3ヵ月以上4ヵ月未満59組、2ヵ月以上3ヵ月未満464組合などとなっています。

金額が分かっている580組合での単純平均(一組合あたりの平均)は、575,182円となり、前年実績566,386円を8,796円上回っています。加重平均額(組合員一人あたりの平均)は592,154円と前年実績627,965円を35,811円下回りました。

民放労連、出版労連の6組合で200万円超の回答を引き出したのをはじめ、100万円以上200万円未満が38組合、50万円以上100万円未満が269組合、50万円未満が267組合となっています。

前年実績比較可能な組合を見ると、月数では1016組合の単純平均で今期は1.89ヵ月と前年実績比(1.88ヵ月)プラス0.01ヵ月とほぼ同水準となっています。このうち31%にあたる315組合が前年実績を超える回答を引き出し、837組合・82.4%が前年実績以上となっています。

額では、480組合の単純平均で今期は597,613円で、前年実績584,337円から13,276円増・引上げ率2.27%となっています。このうち301組合・62.7%が前年実績を上回る回答を引き出しています。

産業別に回答月数を見ると、鉱業・建設、製造、運輸・通信、金融、マスコミ関係が単純平均月数で2ヵ月以上となっています。前年同期比では、農林水産、鉱業・建設、製造、運輸・通信、卸売・小売、医療、社会福祉・介護がプラス、金融・保険、マスコミ関係、その他サービスがマイナスとなっています。

規模別で回答月数を見るとは1~29人、300~999人、1000人以上が前年同期比プラス、30~99人、100~229人がマイナスとなっています。

パートやアルバイトなど非正規雇用で働く仲間の一時金

非正規雇用で働く仲間の一時金は、別表の13単産225組合から獲得報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得は199件となっています。月数報告のあった134件で

の単純平均月数は 0.738 ヲ月で、前年実績比 (174 件平均 : 0.756 ヲ月) マイナス 0.018 減とほぼ同水準となっています。金額報告のあった 88 件での単純平均は 39,632 円で、前年実績 (127 件平均 : 42,860 円) を 3,228 円下回りました。

月給制労働者では 128 件の獲得となりました。単純平均月数は 99 件平均で 1.287 ヲ月と、前年実績 1.130 ヲ月 (83 件平均) を 0.157 ヲ月上回りました。金額では 45 件の単純平均で 188,978 円となり、前年実績 205,509 円 (29 件平均) を 16,531 円下回っています。

時給制継続雇用者での夏季一時金獲得報告は 16 件です。月数報告のあった 11 件での単純平均は 0.472 ヲ月で、前年実績比 (8 件平均 : 0.521 ヲ月) マイナス 0.049 ヲ月。金額では 9 件平均 62,927 円と前年実績比 (8 件平均 : 57,873 円) プラス 5,054 円となっています。

月給制継続雇用者での獲得件数は 30 件で、単純平均月数は 1.076 ヲ月 (17 件) で前年実績比 (8 件平均 : 1.114 ヲ月) マイナス 0.038 ヲ月。金額では 14 件平均 116,458 円で、前年実績 (11 件平均 : 131,426 円・11 件) を 14,968 円下回りました。

前年実績と比較可能な組合での状況を見ると、時間給労働者でプラス 0.003 ヲ月 (107 組合)・プラス 61 円 (58 組合)、月給制労働者がプラス 0.065 ヲ月 (72 組合)・プラス 10,034 円 (24 組合、時給制継続雇用者がプラス 0.030 ヲ月 (10 組合)・プラス 208 円 (7 組合)、月給制継続雇用者がプラス 0.083 ヲ月 (6 組合)・プラス 11,495 円 (9 組合) といずれも前年並みの水準にとどまっています。